

日本天文学会 2000 年春季年会のお知らせ

2000 年春季年会は、2000 年 4 月 3 日(月)から 5 日(水)までの 3 日間、東京大学理学部（東京都文京区本郷）にて開催されます。プログラムや交通案内等は、月報の 93 巻 3 月号(2000 年 2 月 20 日発行)に掲載予定です。

(1) 受付期間および連絡先

事項		受付期間・期限	送付先・連絡先等 [下記参照]	関連項目
講演申し込み	郵送	2000年1月13日(木) 必着	天文学会年会係	(3)(4) (5)(6)
	電子メール	2000年1月7日(金)正午から 2000年1月14日(金)正午まで	送り先はtennetでアナウンスする	
液晶プロジェクター、ビデオの使用		講演申し込み期間中	年会実行委員長	(7)
ポストデッドライン・ペーパー		2000年3月30日(木)まで	年会実行委員長	(8)
最新情報コーナー		年会会期中まで	年会実行委員長	(9)
旅費補助※		講演申し込みと同時	予稿原稿の該当欄にチェックする	(10)
保育室の利用		2000年1月31日(月)まで	年会実行委員(保育室担当)	(11)
講演のキャンセル等		分かった時点ですぐに	年会実行委員長	(12)
各種の会合	プログラムに掲載する場合	講演申し込み期間まで	年会開催地理事・年会実行委員長	(13)
	プログラムに掲載しない場合	2000年3月10日(金)まで	年会開催地理事	
特別セッションの企画 (天文教育フォーラムも含む) 招待講演・特別講演の講演者の推薦		2000年1月7日(金)まで	年会実行委員長	(14)
登録料等の支払い		年会会期中	年会会場受付	(15)
企画セッションの提案 (2000年秋の年会について)		随時	年会実行委員長	(5)
ジュニア セッション	講演申し込み(郵送)	2000年1月13日(木) 必着	天文学会年会係	(16)
	予稿原稿(郵送)	2000年2月29日(火) 必着	天文学会年会係	

※旅費補助を申請する場合には、正会員（学生）の資格が必要です。非会員の学生の方で旅費補助の申請をされる方は、講演申し込みの1ヶ月前までに入会の手続きを済ませてください。

連絡先

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
e-mail : nkntp@tenmon.or.jp 電話 : 0422-31-5488 FAX : 0422-31-5487

◆年会開催地理事 牧島一夫 (東京大学理学部 物理学教室)

e-mail : maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp 電話 : 03-5841-4171 FAX : 03-5841-4059

◆年会実行委員長 (年会理事) 吉川 真 (宇宙科学研究所)

e-mail : makoto@pub.isas.ac.jp 電話 / FAX : 042-759-8341

◎年会開催期間 (2000 年 4 月 2 日～5 日) の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

(2) 前回の年会からの主な変更点

- ・企画セッションは、「天体プラズマ」、「降着円盤」、「銀河形成」(継続)です。「天体プラズマ」のセッションは、地球電磁気・惑星圏学会と日本物理学会(予定)との共催になります。
- ・特別セッションとして、中学生・高校生が発表をする「ジュニアセッション」を行います。
- ・ポスター講演において3分間の口頭発表はオプションとします。講演申し込み時に、3分間の口頭発表をするかしないかを選んでください。口頭発表なしのポスター講演につきましても、筆頭著者は必ず年会に出席してください。
- ・正会員(学生)の年会出席旅費の補助申請が、予稿原稿にチェックするだけでできるようになりました。
- ・会員と非会員との間で、基本登録料の金額に差をつけました。また、基本登録料の正会員学生割引は廃止します。

(3) 講演の申し込みにおける注意<重要>

- ・講演は、天文学に関する完成度の高い研究に限ります。
- ・講演の形式は、(a)口頭講演(10分間の口頭発表と5分間の質疑応答)、(b)ポスター講演・口頭付き(ポスターの掲示と3分間の口頭発表)、(c)ポスター講演・口頭無し(ポスターの掲示のみ)の3種類です。ただし、講演数が多い場合には、講演時間が短縮される場合もあります。
- ・筆頭著者が口頭講演の講演者、ポスター講演の説明者となります。
- ・複数の講演の申し込みもできますが、(a)口頭講演は同一講演者(筆頭著者)について1件までです。
- ・郵送での申し込みの場合は1講演につき1枚の申込用紙に記入してお送りください。電子メールでの申し込みの場合は、1講演につき1通の電子メールで申し込んでください。
- ・同一講演について二重の申し込み(例えば、電子メールと郵送の両方で申し込んだり、電子メールを複数送ることなど)は決してしないでください。このような申し込みがなされた場合は、受理いたしません。
- ・関連するいくつかの講演について発表の順序に希望がある場合には、講演申し込み期間内に、年会実行委員長までご相談ください。

(4) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- ・規定の申込用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- ・用紙の右側の部分には、申し込む分野、筆頭著者に関する情報、発表形式を記入してください。特に、非会員の方は、右下の連絡先にも忘れずにご記入ください。
- ・正会員(学生)の方で、旅費補助を申請される方は該当欄にチェックをしてください。
- ・用紙の左側の部分が90%程度に縮小されて予稿集に印刷されます。
- ・分野(キーワード)、題名、氏名(所属)は、左詰めで記入してください。
- ・講演やポスター発表をする人の名前を氏名の欄の最初に書いてください。
- ・予稿の本文は、氏名の下の大きな空欄内に黒で明瞭に書いてください(枠線からはみ出ないように)。
- ・印刷した別紙を原稿用紙に貼りつける場合は、粘着テープなどは使わずに、糊で確実に貼ってください。
- ・申し込み用の原稿用紙が不足する場合は、必要枚数を天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申し込みの場合

- ・電子メールでの申し込み方法につきましては、申し込み1ヶ月ほど前にtennetを通して連絡します。tennetから直接情報を入手できない方は、tennet加入者にお聞きください。また、WWW (<http://www.tenmon.or.jp/>)

にも掲載されます。電子メールでの申し込みに関係することにつきましては、年会実行委員長にお問い合わせください。

- ・電子メールでの申し込み受付は、自動処理されています。(1)に記載されている期間以外はメールを受け付けませんので、ご注意ください。受付開始・終了時刻は、厳密に日本時間の正午となっています。また、指定された項目以外が書かれてあってもそれは無視されます。
- ・電子メールによる申し込みでの予稿の書き方につきましては、郵送による申し込みに準じます。異なる点につきましては、申し込み方法と一緒に tennet を通して連絡します。
- ・LaTeX形式で書いていただきますが、誤り無く印刷されることを十分確認してから、1回だけ申し込みを行ってください。同一講演について複数のメールを送ることは絶対にしないでください。
- ・送られた申し込みのメールに必要な事項が記入されているかどうか確認された後、折り返し受付番号を記した電子メールが投稿されたアドレスに届きますので、必ず受付番号を確認してください。
- ・電子メールでの申し込みの場合、予稿本文がWWWに掲載されます。支障のある方は、ご連絡ください。
- ・非会員の方も、電子メールでの申し込みができます。

(5) 分野と「企画セッション」

- ・講演分野の分類は、以下の15通りです。
J. 位置天文学、K. 天体力学、L. 太陽系、M. 太陽、N. 恒星、P. 星形成、Q. 星間現象、R. 銀河
S. 活動銀河核、T. 銀河団、U. 宇宙論、V. 地上観測機器、W. 飛翔体観測機器、X. 情報処理
Y. 天文教育・その他
- ・上記分野以外に「企画セッション」を行います。今回の年会でのテーマは下記の3つです。こちらのセッションで講演したい方は、分野として下記の名称をご記入ください。(講演の形式は、通常のセッションと同じです)
A. 天体プラズマ、B. 銀河形成、C. 降着円盤
- ・次回以降の年会での「企画セッション」のテーマは随時受け付けています。年会実行委員長までご連絡ください。

(6) キーワード

- ・分野のあとに、プログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードをご記入ください[例: 銀河団(重力レンズ、ダークマター)]。
- ・キーワードはご自分で自由に選んでいただけますが、「A. 天体プラズマ」、「M. 太陽」、「N. 恒星」、「V. 地上観測機器」の3分野につきましては、以下の「推奨キーワード」の中からご自分の講演に関係が最も深いものを選んで、キーワードの先頭に入れてくださるようお願いいたします。これは、講演のプログラムを編成する上で参考にさせていただくためのものです。該当するものが無い場合は、ご自分で選んでいたキーワードだけで結構ですし、複数該当する場合には複数を書いていただいても結構です。

◎推奨キーワード

- 天体プラズマ: 「磁気リコネクション」、「粒子加速」、「衝撃波」
- 太陽 : 「太陽内部」、「光球・彩層」、「活動領域」、「プロミネンス」、「フレア」、「コロナ」、「CME・太陽風」
- 恒星 : 「超新星」、「コンパクト星」、「巨星」
- 地上観測機器: 「電波」、「赤外」、「可視」、「重力波」、「高エネルギー γ 線」、「宇宙線」

(7) 講演で使える機器およびポスターボード

- ・口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター（OHP）を使用してください。
- ・スライドの使用は原則として考えていません。
- ・ビデオ装置や液晶プロジェクターは、(a)口頭講演（10分発表）のみ使用の申し込みができます。これらの装置の使用を希望される方は、申し込み期間中に予稿原稿とは別に年会実行委員長までご連絡ください。このときには、申し込んだ分野、講演のタイトル、筆頭著者名と連絡先をお知らせください。なお、プログラムが編成された後からの申し込みでは、対応できない場合があります。
- ・ビデオや液晶プロジェクターにつきましては、会場の都合によっては使えない場合があります。希望されても使用できないこともありますのでご了承ください。機器が使用できるかどうかにつきましては、プログラム決定後に申し込まれた方に連絡します。
- ・液晶プロジェクターを使用される方は、接続するパソコン等をご持参ください。ただし、機種によっては液晶プロジェクターに接続できない場合もあります。機器の接続に関しては、年会実行委員長までお問い合わせください。
- ・パソコンを液晶プロジェクターに接続して発表される方は、トラブルに備えてOHPでも発表できるように準備してください。また、セッション前にはパソコンの接続試験を必ず行ってください。（液晶プロジェクターにトラブルがあっても、講演時間は厳守していただきます。）
- ・ビデオを使われる方につきましても、セッション前に上映のための確認をしてください。
- ・ポスターボードの大きさは、プログラムに掲載します。（通常は、縦180cm、横90cmです。）

(8) ポストデッドライン・ペーパー

- ・年会の申し込み期間締切後も、ポストデッドライン・ペーパー（以下、PDLと略記）として講演を受け付けます。
- ・PDLは、単に講演申し込みの締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circularに掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定されます。具体的には、約半年後の次の年会での発表まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申し込みよりもかなり受け付けの基準が厳しくなります。
- ・PDLを申し込まれる方は、(1)に記載されている期日までに発表内容を年会実行委員長までお知らせください。
- ・PDLの講演方法は、ポスター発表のみとなります。3分間の口頭発表はありません。
- ・PDLの予稿は次の年会の予稿集に掲載されます。予稿原稿は、発表が受理された後に作成していただきます。予稿原稿は、郵送による申し込みと同様に予稿原稿用紙に記入して、日本天文学会年会係まで郵送していただくことになります（電子メールでは受け付けません）。

(9) 最新情報コーナー

- ・ポストデッドライン・ペーパーの他に、最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けますが、申し込み締切に間に合わなかったような講演を掲示することは避けてください。また、年会での講演とはなりません。したがって、予稿集等には掲載されません。
- ・発表の形式は、ポスターです。（口頭発表はありません。）
- ・希望される方は、年会実行委員長までご連絡ください。最新情報コーナーへの掲示については年会開催時まで受け付けますが、掲示のスペースには限りがありますので、なるべく早めにお申し込みください。スペースが無くなれば、受付を終了します。

(10) 年会出席旅費補助

- ・年会出席旅費補助の申し込みのできる人は、申し込みの前までに2000年度会費納入済みの方で、連名の場合でも筆頭講演者であり、正式の給与を受けていない正会員（学生）に限ります。
- ・補助を希望する場合は、講演を申し込むときに予稿原稿の旅費補助の欄にチェックをしてください。
- ・近距離の場合は旅費補助がされない場合があります。
- ・補助金支給の決定については、特に連絡致しません。
- ・補助金は年会会場受付にてお渡し致しますので印鑑をご持参ください。年会終了後にはお渡しできません。
- ・注意：旅費の補助を申請するためには、講演申し込み時に会員番号が発行されている必要があります。入会申し込みの手続きをしてから会員番号が発行されるまでには、時間がかかります。旅費補助を申請されたい方は、講演申し込みの1ヶ月前には、入会の手続きをしてください。

(11) 天文学会会期中の保育室

- ・会場内に保育室を設置する予定です。詳しい内容と申し込み手続きにつきましては、天文学会のWWWに掲載します(<http://www.tenmon.or.jp/meeting/>)。
- ・WWWがアクセスできない方は、加藤万里子 年会実行委員（保育室担当）まで、電子メール(mariko@educ.cc.keio.ac.jp)かFAX(045-563-1650)でお問い合わせください。
- ・申し込みの締め切りは(1)に記載されているとおりますが、できる限り利用者の皆さんの便宜を図りたいと思いますので、利用されたい方は上記担当までご相談ください。

(12) 講演のキャンセルや変更

近年、講演のキャンセルが増えています。理由のいかんにかかわらず、これ以上キャンセルが増えると、年会の運営に支障をきたしますので、慎重にお申し込みください。なお、講演キャンセルや変更に関しましては、次の点にご注意ください。

- ・講演をキャンセルや変更することになった場合は、速やかに年会実行委員長まで連絡してください。
- ・キャンセルの場合、その理由によっては代理の人による講演を認めますので、実行委員長までご相談ください。
- ・講演のキャンセルや変更などがあつた場合には、次の年会のプログラムに変更を記載するようにします。
- ・講演をキャンセルする場合や代理の人に講演を依頼する場合でも、基本登録料や追加講演登録料は筆頭著者がお支払いください。

講演のキャンセルは、お金と時間を無駄にすることになりますので、極力避けていただくようお願いします。

(13) 年会時の各種会合

- ・年会時に会合などのために会議室や講演会場などを使用されたい場合には、(1)に記載されている期日までには年会開催地理事までご連絡ください。年会開催地理事が、部屋の割り当てをします。
- ・さらに、会合をプログラムに掲載したい場合には、年会実行委員長にもあわせてご連絡ください。この場合には、(1)に記載されていますように早めに連絡していただく必要があります。
- ・会合に使える部屋には限りがあります。申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

(14) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つような話題につきましては、そのテーマだけのセッションを単独で開くことができます。これを「特別セッション」と呼び、原則的には同時に他のセッション等を行いません。このよう

なセッションを開きたい方は、(1)に記載されている期日までに年会実行委員長までご相談ください。
 ・また、会員の多くが興味を持つようなテーマについて、講師を依頼してお話ししてもらう「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。適切なテーマや講師の候補がありましたら、(1)に記載されている期日までに年会実行委員長までご連絡ください。

(15) 登録料など

年会に参加する方は、講演のあるなしに関わらず、基本登録料をお支払いください。基本登録料には、1講演までの講演登録料が含まれています。2つ以上講演される方は、追加講演登録料をお支払いください。なお、天文教育フォーラムやジュニアセッションのみに参加される方の基本登録料は無料です。また、「天体プラズマ」セッションの共催学会である地球電磁気・惑星圏学会と日本物理学会（予定）の会員の方は、天文学会会員に準ずることとします。

	会員	非会員	
基本登録料	3,000 円	5,000 円	（1講演分の講演登録料を含む）
追加講演登録料	3,000 円	3,000 円	（追加1講演につき）
年会予稿集	2,000 円	2,000 円	（購入希望者のみ）

- ・基本登録料および追加講演登録料は、原則的に年会会場受付でお支払いください。振り込み等によって支払いたい方は、天文学会年会係にご相談ください。
- ・予稿集を郵送で購入されたい方は、会員の場合、会員番号および「2000年春季年会予稿集希望」と明記の上、郵便振替（下記）でご送金ください。代金は1冊2,000円（消費税込み、会員の場合送料は不要）です。非会員で予稿集を郵送で購入されたい方は、予稿集1冊あたり2,000円（消費税込み）と郵送料160円をご送金ください。なお、予稿集は、年会会場受付でも購入できます。（予稿集予約の葉書を学会にお送りいただいている方につきましては、手続きは不要です。）
- ・講演をキャンセルした場合（代理人によって講演された場合も含む）は、筆頭著者が基本登録料や追加講演登録料をお支払いください。この場合には、年会会場受付以外に、郵便振替でもお支払いできます。
- ・郵便振替： 0 0 1 6 0 - 1 - 1 3 5 9 5 社団法人日本天文学会

◎非会員の方へ：

年会は、主として天文学会会員の研究発表や情報交換等を通じて天文学の発展に寄与するものです。非会員の方でも講演の申し込みや年会の聴講はできますが、是非、天文学会に入会されますようお願いいたします。

(16) ジュニアセッション

2000年春の天文学会年会では、特別セッションの1つとして「ジュニアセッション」を開催します。これは、中学生と高校生が、天文学に関する研究成果を発表するセッションです。日頃の学習・クラブ活動の成果や、天文講座や体験学習を発展させたことなどについて、是非、このセッションで発表してください。また、天文学の現場で活躍している研究者とふれあうことで、生の天文学を知りその面白さを感じてください。このセッションが、中学生・高校生の皆さんの天文学についての学習・研究活動をより活性化させるきっかけの1つとなれば幸いです。

◆日時・場所

日本天文学会 2000年春季年会：2000年4月3日（月）～5日（水）、東京大学理学部（東京都文京区本郷）

※ジュニアセッションは年会開催期間中に年会会場で行われますが、具体的な日時や会場につきましては、年会のプログラムが確定するとき（2000年1月）に決まります。

◆対象

中学生、高校生の団体または個人。(大人が加わっていても構いませんが、活動の主体は生徒です。)

◆申し込みの方法とその受理

- ・年会受付と同じ期間(2000年1月13日必着)に、講演申し込みを郵便で送ってください。封筒の表には、「ジュニアセッション申し込み」と朱書してください。送り先は「〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係」です。申し込みには、(a)講演のタイトル、(b)著者名(学年)、(c)学校名、(d)概要(10行～20行程度)、(e)セッションに参加できるかそれとも予稿やポスターを提出するのみか、(f)連絡先(住所、氏名、電話、FAX、電子メール等)を記載してください。(概要は、プログラム作成のために参考にするものです。書き方は自由です。)
- ・申し込まれた講演については、「ジュニアセッション実行委員会」で簡単な審査をし、受理するかどうかの結果を申し込まれた方にお知らせします。
- ・講演申し込みが受理されましたら、発表内容をA4で2ページ程度にまとめた予稿を、上記の天文学会年会係まで郵送してください(2000年2月29日必着)。書き方は自由です。(これは、そのまま講演の予稿集となります。なお、ジュニアセッションの予稿集は、年会の予稿集とは別になります。)
- ・予稿につきましても、ジュニアセッション実行委員会で審査をし、セッションのプログラムを決定します。プログラムは、申し込まれた方にお知らせします。

◆セッションでの発表

- ・セッションでの発表方法としては、口頭発表かポスター発表を考えています。具体的な発表形式は、申し込みをされた方にお知らせします。
- ・遠隔地であるとか参加するための日程が取れないなどの何らかの理由がある場合、予稿やポスターは提出するがセッションには出席しないということも可能です。
- ・セッションで発表した場合は勿論のこと、予稿やポスター提出だけの場合でも、できる限り専門の研究者のコメントをお知らせするようにしたいと考えています。

◆その他の事項

- ・「ジュニアセッション」を開催することは、高校生が通常のセッションで発表することを抑制するものではありません。通常のセッションでも発表できるような内容の研究については、通常のセッションに申し込んでください。
- ・「ジュニアセッション」に参加する場合(発表および聴講)は、無料です。さらに、中学生、高校生については、そのまま通常のセッションを聴講しても結構です。年会受付での手続きのときに、ジュニアセッションに参加することや中学生・高校生であることを申し出てください。ただし、通常のセッションで講演する場合は、通常通りに基本登録料等をお支払いください。

◆ジュニアセッションについての問い合わせ先

天文学会年会実行委員長 吉川 真 : 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1 宇宙科学研究所
(ジュニアセッション世話人代表) e-mail: makoto@pub.isas.ac.jp 電話/FAX: 042-759-8341

吉川 真 (年会実行委員長)